

熊大の入鹿山教授らから

# 医学的な説明を聞く

## 水俣病 補償委の調査終る

のホテル・キャッスルに熊大医学部衛生学の入鹿山且朗教授と同大神経精神医学の立神政順教授を招き、水俣病の医学的見解を求めた。

席上、入鹿山教授らは水俣病発生当初から水銀中毒と断定するまでの経過などを、熊大が発表した水俣病の文献を中心に二時間にわたって説明した。千種委員らはとくに他の学説との違いやなぜ水俣市にだけ集中発生したかなどをたじた。これで三日間にわたる調査を終わり、一行は午前十一時三十分熊本発板付経由で帰京した。

水俣病調査のため来熊中の補償処理委員会（千種達夫座長）の一行は二十九日午前九時から熊本市